2018今年の注目！企業・人物・製品・技術

4新製品を発表 page2018で実機展示

トヨテック

㈱トヨテック（本社／千葉県野田市、豊田保社長）は2018年、次の4製品の販売に注力していく。なお、同社はpage2018に出展し、これらの製品を実機展示する予定。

【B2サイズ横送り枚葉スポットコーター「TB2-6000」】

B2サイズのプリントへのスポットUVコーティングを行うために作られた枚葉コーター。樹脂版がセットできるため、スポットコーティングが可能で、パッケージプリントへのコーティングに適している。

コーティングの厚みはアニロックスローラーの線番によって変化する。処理可能な紙厚は0・1mm～0・5mmまでと幅広く、760mm幅のペーパーを処理できる。

オプションとして、プライマー用にコロナ処理ユニットとIRランプユニットが取り付け可能。

〈仕様〉

▽最大処理速度＝6000枚／時
▽最大プリントサイズ＝760mm×550mm
▽処理可能厚み＝0・1～0・5mm
▽給紙最大積載高さ＝200mm
▽排紙最大積載高さ＝400mm
▽供給電源＝三相200V 50／60Hz
▽消費電力＝10Kw
▽機械サイズ＝4500（L）×1800（D）×1800mm
▽機械重量＝2200Kg

【グロス&マット処理・独立2系統機構UVコーター「Digicoater 13R TWIN」】

1台でグロスUVコーティングとマットUVコーティングができる独立した2系統のコーティング機構を持つA3ノビ縦送りUVコーター。コーティングユニットが上下することでプリント搬送が安定し、コーティング品質の向上と作業性が向上する。

2種類のUVニスをセットしたまま瞬時に切り替えができるため、少量多品種の液ラミ処理にも威力を発揮する。

オプションで、オートフィーダーユニットがある。

〈仕様〉

▽最大プリントサイズ＝330mm×560mm
▽処理可能厚量＝100～400gsm
▽コーティング厚み：6～12μ
▽供給電源＝三相200V 50／60Hz
▽消費電力＝4Kw（UV）＋2kw（IR）
▽機械サイズ＝1870（L）×730（D）×1040mm
▽機械重量＝310Kg

TB2-6000

Digicoater Twin

HPB-18

【全自動筋押し折り・レイフラット製本機「HPB-18」】

好評発売中の全自動レイフラット製本機「HPB-13L」の後継機として、大型アルバムモデルの「HPB-18」を新発売した。

150mmSQサイズから460mmSQまでのサイズ、最大60mmの厚みまで対応。

連続での300mmSQサイズ20ページレイフラットアルバム、プリント同士合紙で35冊／時、プリント間にI・0mmの厚みまでのカード紙が入れられ、30冊／時と「HPB-13」からスピードアップしている。「HPB-18」はプリントをセットするだけで筋押し、折、ページブロック製本をワンパスで処理することができる全自動レイフラットフォトブックバインダーとなっている。

合紙にホットメルト糊を使うため、合紙製本の材料を問わない。

〈仕様〉

▽最小処理サイズ＝150mm×305mm（見開き長さ）／最大60mm（積載高さ）
▽最大処理サイズ＝460mm×920mm（見開き長さ）／最大60mm積載高さ
▽連続処理冊数＝20頁150mmSQ：プリント同士：50冊／時、中台紙有：40冊／時
▽連続処理冊数＝20頁300mmSQ：プリント同士：35冊／時、中台紙有：30冊／時
▽中台紙種類＝厚み：0・35～1・0mm 積載高さ：150mm
▽材質＝紙、合成紙、PVC、PET
▽糊種類＝専用ホットメルト糊
▽供給電源＝単相200V 50／60Hz
▽消費電力＝1Kw
▽使用エアー量＝0・6Mpa 100L／min
▽機械サイズ＝2300（L）×900（D）×1200mm
▽機械重量＝650Kg

【自動給紙カッティングプロッター「DG4060」】

「DG4060」は、A2サイズまでのシール、ラベル、コートボール等の紙器の自動給紙、カット、排紙までを高い生産性でカットする。対応する紙厚は0・08～1・0mm（自動給紙）、0・08～2・0mm（手動セット）と幅の広い対応が可能である。

CCDカメラを使った自動トンボ読み取りにより、印刷物の高精度な輪郭カットが行える。

〈使用〉

▽最大ペーパーサイズ＝400×600mm
▽最小ペーパーサイズ＝148×210mm
▽最大カッティングエリア＝360×600mm（ツインヘッドモデル）
▽処理速度＝600～1000m／秒
▽処理可能ペーパー厚み＝フィーダー 0・08～1mm／カッティングプロッター 0・08～2mm
▽繰り返し精度＝0・1mm
▽フィード方式＝エアーバキュームパッド
▽フィーダー積載高さ＝200mm
▽ヘッド機能＝全カット、ハーフカット、筋入れ、ミシン目
▽定格電源＝AC 単相200V、50－60Hz
▽消費電力＝オートフィーダー：1・5KW カッター本体：2KW
▽外形寸法（W×D×H）＝オートフィーダー：1480×713×1060／カッター本体：1150×900×850
▽機械重量＝オートフィーダー：250kg／カッター本体：350kg

DG4060 digital die cut

多彩な印刷機用・製本ライン用ベルト 生産性向上に多大な効果

ニッタ

ニッタ㈱（本社／大阪市浪速区桜川）の印刷機用ベルト「ポリスプリント・シリーズ」は、多くの印刷機メーカー・製本機メーカーのラインに組み込まれ、耐摩耗性の高さや搬送精度の高さ、長寿命などで印刷・製本ラインの生産性向上に貢献している。今回、同シリーズ並びに簡易エンドレスが可能なエンドレス工具を紹介する。

「ポリスプリント・シリーズ」は、印刷機用のベルトとして耐摩耗性と高い搬送精度、長寿命などを特徴とする各種ベルトをラインアップしており、グラビア輪転印刷機の加速部やデリバリ部、オフセット枚葉印刷機の枚葉フィーダー部、オフセット輪転印刷機の折り胴部やチョッパー折り部に使用されている。

また、製本ライン用ベルトとしては、紙搬送に適した摩擦係数、搬送物を傷つけないソフトな表面布、フィンガー継手、寸法安定性などを特徴とする各種ベルトをラインアップ。中綴製本機の丁合部や供給部、突上部、デリバリ部、インフィード部、三方断裁機、スタッカー部、丁合機の垂直搬送部。紙折機のフィード部などに使用されている。

フィンガーパンチャー (1) で継手打抜き

ベルトをプリセッター (4) にクランプ (5) 固定でホットプレス (2) で熱融着

冷却プレス (3) でエンドレス終了

エンドレス工具も用意

同社はこれらのベルトの復旧作業を簡単に行える「エンドレス工具」を用意。このエンドレス工具は、ベルトが傷んだり、切れた場合に、オペレーターが自分で復帰作業することができるように販売しているもの。接着剤は不要で、温度と圧力をかけて「ホット（加熱）プレス」により接着する。所用時間は10分程度。作業手順も至って簡単となっている。

（1）フィンガーパンチャー（2）フィンガー継手用ホット（加熱）プレス（3）クーリング（冷却）プレス（4）プリセッタ（5）クランプ金具（2個）（6）専用ケースがセットされている。

▼作業手順△

エンドレスを行う場合、まず、ベルトの長さを確認した上で、（1）フィンガーパンチャーにより継ぎ手を製作する。この際、注意すべき点はベルトが曲がらないようにベルトを左端に沿わせることのみである。あとはレバーを下ろせば、一発打抜きで簡単・確実にフィンガー継手を製作できる。

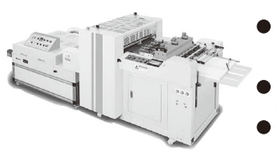
次に使うのが、（4）プリセッタ。これはプレスする際、ベルトが曲がらないように仮固定するための道具。このエンドレス工具では、ベルト内の「ウレタン」を熱で溶かすことで接着させるため、プリセッタで固定したら、継ぎ手に隙間ができないように突き合わせるのがポイントである。

（5）のクランプ金具でプリセッタの左右を固定したら、次にエンドレス温度を高めておいた（2）ホット（加熱）プレスによる加熱に入る。プリセッタ全体に均一に圧力が掛かる様に、奥までしっかりと挟み込む（約4分間）。

時間が経ったら、次は（3）のクーリング冷却プレスによる冷却である。これも同様にプリセッタ全体に均一に圧力が掛かるように挟み込む（約5分間）。

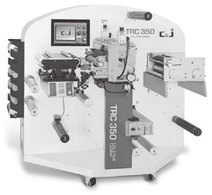
以上でエンドレス作業は完了。この間、およそ10数分。製本ラインの再稼働が可能になる。

B2サイズ横送り枚葉スポットコーター【TB2-6000】



- B2サイズのプリントへのスポットUVコーティングを行うために作られた枚葉コーター
- 樹脂版がセットできるのでスポットコーティングが可能、パッケージプリントへのコーティングに最適
- コーティング厚みはアニロックスローラーの線番によって変わる
- 処理可能な紙厚は0.1mm～0.5mm、760mm幅のペーパーを処理可能
- オプションとしてプライマー用、コロナ処理ユニットとIRランプユニットが取り付け可能

高速型ロールtoロールUVコート&プライマー【TRC350/520】



- 350mm幅と520mm幅対応の2モデル
- コロナ処理とプライマーコーティングを最大100m/分の高速処理が可能
- オプションでUV液ラミを行い、スリットやダイカットをワンパスで処理可能
- コーティングはアニロックスローラー方式
- PP,OP,PVC,PET等のフィルムはコロナ処理ユニットが必需

グロス&マット処理、独立2系統機構UVコーター【Digi coater 13R TWIN】

- 一台でグロスUVコーティングとマットUVコーティングができる独立した2系統のコーティング機構方式、A3ノビ縦送りUVコーター、コーティングユニットの上下で切り替え、プリント搬送が安定し、コーティング品質の向上と作業性が向上
- 2種類のUVニスをセットしたまま瞬時に切り替えができ、少量多品種の液ラミ処理にも威力を発揮
- オプションでオートフィーダーユニットがある

自動筋押し機【オートクリーサーAC-3000Ⅱ】

- コンパクトサイズながらも幅330mm×長さ3,000mmに対応
- パー交換方式で薄紙、厚紙にも完全対応、ミシン目も対応
- 折り目の深さや、筋押しラインの角度調整も簡単に調整が可能
- 筋押しを最大16ラインまで設定できる

全自動筋押し折り、レイフラット製本機【HPB-18】

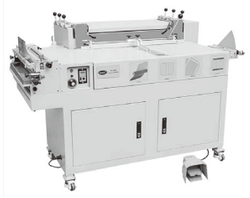
- 150mmSQサイズから460mmSQまでのサイズ、最大60mmの厚みまで対応
- 連続処理、300SQサイズ20ページ、プリント同士合紙で35冊/時の処理
- 1.0mm厚みまでのカード紙が入れられ、30冊/時の処理
- プリントをセットするだけで筋押し、折、ページブロック製本をワンパスで処理する完全自動レイフラット製本機
- 合紙にホットメルト糊を使うので合紙製本の材料を問わない

PUR無線綴じ製本機【Eco150/Eco300】

【Eco150】
- 最大処理サイズA4までのコンパクトサイズ、能力は連続150冊/時間
- 少量多品種に適し、断続的な180度開くフォトブック、マニュアル等の制作に対応した機構
- PUR糊の劣化を防ぐシャッター機構糊シリンダー、ページ厚み違いの自動設定機構
- タンク内PUR糊は3週間以上未使用でも問題なく使用可能

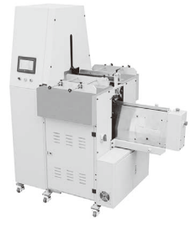
【Eco300】
- 最大処理サイズA3、能力が連続300冊/時間のEco300が上位機種である

セミオート型ハードカバー作成機【ACM-500N】



- セミオート型のハードカバー作成機
- 強力なニカワ糊、センタートンボでの位置合わせ、バキュームによる表紙固定で位置ずれが無い表紙ができる
- 最大紙サイズは460x840mmまで処理可能
- チップボール厚みは1.5～4.0mmまで対応

セミオート型表紙・本身合本機【ACI-360N】

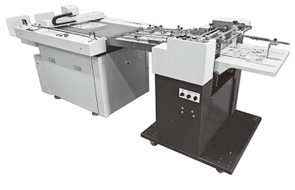


- 水性糊を使ったハードカバーとページブロックを合体させる機械
- PLC制御システムでカラータッチパネルを採用
- ページブロック最大サイズは360×250ミリ
- ページブロック最大厚みは60mm

セミオート型プレス・イチョウ加工機【PCM-380N】

- 油圧により表紙とノドを同時にプレスし、加熱・圧着する
- PLC制御により、自動・手動の切り替え操作が可能なほか、安心なデザインかつ強固な構造を実現
- 可動式キャスターを採用
- 最大プレスサイズは380×360ミリ。本の厚さは8～65ミリ。処理速度は毎分8～12冊

自動給紙カッティングプロッター【DG4060】



- A2サイズまでのシール、ラベル、コートボール等の紙器を自動給紙、カット、排紙を高い生産性で行う
- 紙厚は0.08～1.0mm(自動給紙)0.08～2.0mm(手動セット)と幅の広い対応が可能
- CCDカメラを使った自動トンボ読み取りで印刷物の高精度な輪郭カットができる

建材・美術品用表面3D大型スキャナー【DRS2000DCS】

- 色・文字情報と共に凹凸情報がスキャンできる
- 革目や布目の細かいシボ(しわ)も高精度にスキャンできる
- 色情報と同時に3D情報(深さ情報)も取得
- 一度のスキャンで全方向のライティング情報を取得でき、スキャン後に数百通りのライティングをシミュレーション
- テーブルサイズ:140x250cm
- 最大スキャンサイズ:120x200cm

エアー緩衝材製造【ミニ・エアー CLASI】

- 8m/分でエアークッションを製造する最軽量製造機。
- フォトブックの梱包に最適なエアークッションが最小のスペースで必要な時に必要な量だけ製造、使用できる
- 導入効果は歴然、「梱包材コストの削減」「資材保管スペースの削減」「梱包作業の効率化」が得られる

お問い合わせは TOYOTEC co., LTD 株式会社トヨテック

〒278-0015　千葉県野田市西三ヶ尾77-2
(TEL) 04-7121-0755　(FAX) 04-7121-0740
(Email) sales@toyotec-intl.co.jp　(URL) http://www.toyotec-intl.co.jp/